

大謝名小のスタ場!!!

2022, 12, 14(水)

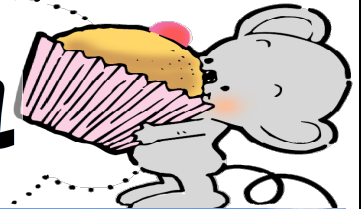
第45号

宜野湾市立
大謝名小学校

校内新聞

「スタ場」とは、「スタートの場」「スタディの場」「スターの場」を表しています。

首里城のヒミツあれこれ



2学期の社会見学で、4年生が首里城に行きました。見学前に3学級で校長先生が首里城のことについて、火事にあう前に撮った写真をまじえてお話ししました。その中からいくつか紹介します。

首里城は「琉球王国」の政治や文化の中心で、国王とその家族の住まいです。中国と日本の両方の文化のよさを取り入れ、日本でたった一つの「赤いお城」です。



首里城正殿（火災前）

新春の宴

お正月の3日間にはは、『新春の宴（うたげ）』が開かれ、琉球国当時の衣装での儀式風景が再現されます。興味のある人はぜひいってみてください。



王様が1年のぶじを祈る



浮道に並び王様と王妃を待つ

北殿（ほくでん）・正殿（せいでん）・南殿（なんでん）

御庭（うなー）では、北殿・正殿・南殿が並んでいます。北殿は、琉球の役人が仕事をしたり、中国からの使者をもてなす場でした。南殿は、さつま（今の鹿児島）からの役人もてなすため、日本風の書院づくりになっています。



（文責：玉村かおり）

首里城に龍は何匹いる？

首里城の柱や壁には、たくさんの龍（りゅう）の絵や彫刻（ちょうこく）があります。たいていは向かい合った2匹でペアになっています。

では、ぜんぶで何匹の龍がいるのでしょうか。実はぜんぶで47匹います。

1匹だけペアになれなかった独身？の龍は、正殿の屋根の中央にいます。



王様のいす

首里城の龍のツメは何本？

もう少し、龍を観察しましょう。ツメは何本あるのでしょうか。

龍のツメについては、昔、影響力の強い国であった中国の王様だけが「5本ツメの龍」を持つことを認められていました。中国の周りの国々で、中国と親しくしていた朝鮮や琉

球などは、中国の王様に遠慮して、4本ツメの龍を持つことを許されてきました。さらに関係のうすい日本などは3本ツメの龍を持つことを許されてきました。また、特別に中国の王様から贈られた品物には、5本ツメの龍が描かれていました。



首里城の柱の龍（4本ツメ）

首里城の周りの建物は地味？

首里城近辺の建物は、都市景観条例にもとづいて、琉球の歴史と文化を感じるまちづくりが進められています。例えば、15mを超える建物は作らないとか、赤瓦などの建築にお金を助成するとか、首里



城が華やかに見え、落ち着いた街並みになるよう示されています。コンビニなども、ベージュなどの色合いでつくられているのです。

2019年に火事で焼けてしまった正殿などの建物の復興が始まりました。取組の様子を見守りながら、また首里城にあえるのを楽しみにしましょう。